

令和4事業年度

決 算 報 告 書

自：令和4年4月 1日

至：令和5年3月31日

国立大学法人東京農工大学

令和4年度 決算報告書

国立大学法人東京農工大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	6,351	6,528	177	(注1)
施設整備費補助金	633	675	41	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	813	1,193	380	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	-	26	26	(注4)
自己収入	4,719	4,635	△ 83	
授業料，入学科及び検定料収入	3,374	3,351	△ 23	(注5)
附属病院収入	-	-	-	
財産処分収入	458	452	△ 5	
雑収入	886	832	△ 54	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,777	3,517	740	(注7)
引当金取崩	-	-	-	
長期借入金収入	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	196	167	△ 29	(注8)
引当特定資産取崩	-	-	-	
計	15,491	16,744	1,253	
支出				
業務費	11,200	10,759	△ 441	
教育研究経費	11,200	10,759	△ 441	(注9)
診療経費	-	-	-	
施設整備費	633	701	67	(注10)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	813	1,105	291	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,777	3,040	263	(注12)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	66	66	-	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	15,491	15,673	181	
収入-支出	-	1,071	1,071	

※決算報告書は百万円未満切り捨てにより作成しています。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、光熱費高騰対応に係る教育研究基盤維持経費などの追加配分により、予算額に比して決算額が177百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった令和4年度国立大学法人施設整備費補助金の交付を受けたことにより、予算額に比して決算額が41百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国及び独立行政法人等の補助金の獲得をしたため、予算額に比して決算額が380百万円多額となっています。
- (注4) 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金については、予算段階では予定していなかった交付内示額の増を受け、予算額に比して決算額が26百万円多額となっています。
- (注5) 授業料、入学料及び検定料収入については、授業料等免除実施額の増加により授業料収入が想定額を下回ったため、予算額に比して決算額が23百万円少額となっています。
- (注6) 雑収入については、動物診療収入等の減少により、予算額に比して決算額が54百万円少額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、国及び民間等からの受託研究及び共同研究の獲得に努めた結果、獲得が想定額を上回ったため、予算額に比して決算額が740百万円多額となっています。
- (注8) 目的積立金取崩については、一部事業の翌年度繰越等により、予算額に比して決算額が29百万円少額となっています。
- (注9) 業務費については、予算段階での見込よりも人件費が減額したこと等により、予算額に比して決算額が441百万円少額となっています。
- (注10) 施設整備費については、(注2)及び(注4)に示した理由により、予算額に比して決算額が67百万円多額となっています。
- (注11) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が291百万円多額となっています。なお、補助金等収入には、授業料等減免費交付金が88百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)に示した理由により、予算額に比して決算額が263百万円多額となっています。なお、支出額のうち前年度からの繰越額は450百万円となります。